

(4) 高田梅

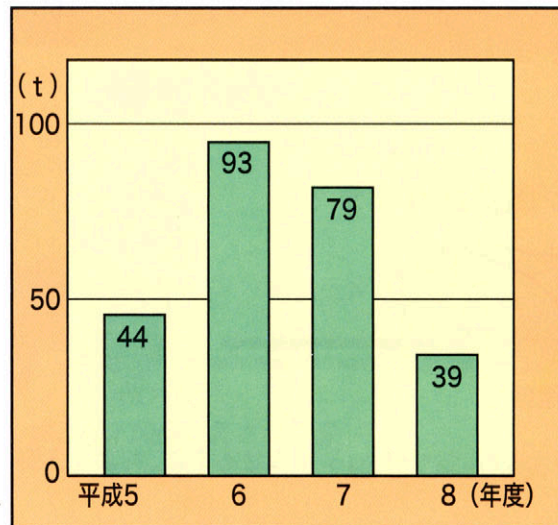
会津高田町の高田梅は、栽培の歴史が古く、室町時代に植えられた「豊後（今の^{おおいた}大分県）梅」が栽培の始まりとされています。会津の人は、古くからこの梅を「梅漬^づけ」や「梅酒」として利用してきました。

最近では、りんごやももの栽培がふえ、梅畑はだんだんと少なくなってきています。しかし、高田梅は、^{なかどお}中通りなどほかの地方でもさかんに作られるようになってきました。

収穫された梅は、梅漬^づけの外に梅ジャム、梅ジュースや梅のはちみつ漬^づけにされたりもします。

会津若松市や郡山市の市場に出荷されるほかに、直接、宅配便などで、ほしい人に送ったりもします。

最近の梅の生産量（福島農林水産統計年報より）



▲梅畑



▲収穫のようす